

令和元年度「新潟市区自治協議会委員研修会」の記録 次第

日 時：令和元年7月1日（月）
午後1時30分～3時30分
会 場：北区文化会館

1 開会

2 市民協働課 説明

○テーマ：第7期自治協委員への期待について

○説明者：市民協働課 課長 松屋 賢治

3 区自治協議会の役割に関する取組み報告

○発表者：南区自治協議会 小田 信雄 様

西区自治協議会 加野 麻理子 様

北区自治協議会 松田 正實 様

秋葉区自治協議会 小林 俊介 様

○進 行：特定非営利活動法人 まちづくり学校 横尾 文子 様

(休 憩)

4 パネルディスカッション

○登壇者：同上

5 閉会

令和元年度 区自治協議会委員研修会出席状況について

1 令和元年度(7月1日(月)開催)

区	出席予定者	出席率
北区	17	55%
東区	14	47%
中央区	23	61%
江南区	22	73%
秋葉区	12	40%
南区	10	33%
西区	17	47%
西蒲区	7	23%
計	計 122	(48%)

2 (参考)過年度

年度	出席者	出席率
H30	108	43%
H29	132	52%
H28	119	47%
H27	125	49%
H26	95	38%
平均	116	46%

当日の様子

←ロビーにてラムサール条約の啓発用パネルを展示



北区の実践について
発表する松田会長

北区自治協議会の取り組み

会長 松田



←↓パネルディスカッションの様子



会場からの意見・感想

(抜粋)

「区外の人に応援してもらおう」仕組みづくり

- ・ 今後は出張して他の区や市民にもっとアピールしてはどうでしょうか？
- ・ ラムサール条約登録されることでどの様なメリットが自治協議会にありますか？ 県外からも観光地として推進してください。

北区の取り組み参考にしたい！

- ・ 自然環境の大切さを発信されている自治協議会の活動、取組みに一生懸命さを感じました。
- ・ 自治協議会委員が学習会で知識をもつことは大切と思った。
- ・ ラムサール条約への登録に向けた住民のリーダーシップをとるべく活動はすばらしく、自治協議会ならではの活動だと思う。
- ・ 自然の豊かさをたくさんの方に知ってもらおう、また、その保全に取り組んでいくために啓発活動する、継続的な取組みに感動しました。

もう少し詳しく教えてください！

- ・ ラムサール条約の住民周知に向け、区役所と自治協議会との役割分担はどのようにされたのか。
- ・ 自治協議会は委員が変わり、方向性も途中で変わったりするが、登録まで続けることが可能なのか。

ラムサール条約への登録、応援しています！

- ・ 提案事業で作られたマップ、大変グレードが高いと思います。
- ・ 自治協議会が主体となってこの計画をしているととらえてよいのでしょうか。他の区とは異なる感じがしました。
- ・ 自治会長向け講演会を開催されたとのこと。良い流れ方だと思います。
- ・ 自治協議会から「ラムサール条約」登録に向けて取り組むことは、登録後にも継続して事業が行えるので、登録されるといい。
- ・ 北区の文化を大切に守る活動は、自治協の本質的な取組みであると思います。早期登録を期待します。
- ・ 自治協議会としてラムサール条約に取り組むことは、区民の意識をまとめ、協働する機運を再構成する意味で大いに意義があると考えます。
- ・ 問題が大きすぎて完了するまで時間がかかるのではないかと思います。
- ・ 今年から自治協議会の委員になりました。これからの活動がとても楽しみになりました。

地域の魅力を子供達に伝えているのか？

- ・ 福島潟の魅力とか楽しいことを小・中学校の子どもたちに広く知らせる活動は、すすめられているのか？
- ・ 新しい物を作り上げるのではなく、今ある物を引き継いでいる大切さを知りました。地区の小中学校生徒と保護者を交えた活動はなされているのでしょうか？

国内外の観光客向けPRの仕方を工夫できそう！

- ・ 飲食施設がもっと充実していれば、もっと来館者にPRできるのではと思います。
- ・ 佐潟（水鳥、湿地）をよく勉強して、福島潟の条約登録にむかっている。河童のユウタ等はまだまだ広く知られていない。魅力の発信を広く、何回も何回も続けるべきと思う。
- ・ 交通網の整備を早急に願う。
- ・ 佐潟と一緒に市、県単位でのPRをすすめ、国内外からの観光客を呼び込んでほしい。その為にはサインの増設や4ヶ国語表示も必要です。
- ・ 「福島潟」に行けば、いつでも大自然（湿地の）に会える。この好条件をぜひ後世に残してほしい。各々のご尽力に敬意を表します。

第7期自治協委員への 期待について

市民生活部 市民協働課

1

本研修会の趣旨

- ① 区自治協議会の役割に対する理解を深めること
- ② 他区の特徴的な取組みを共有すること

今後の区自治協議会の活動に活かし、
更なる活性化を

2

区自治協議会の役割

大きな役割は2つ

「審議会」 の役割

行政区を主体としたまちづくりを進めるため必要な審議を行う役割

「協働の要」 の役割

「大きな区役所」と地域団体・住民とをつなぐ役割

3

区自治協議会の役割の変化

求められる役割も徐々に変化

「審議会」 の役割

合併建設計画に関する議論も終わり、
建議・意見聴取数は減少傾向に

「協働の要」 の役割

更なる地域課題の解決に向け、
「実施主体」の役割や、
「地域代表」の役割が新たに派生

4

区自治協議会の現在の役割

「審議会」の役割

- ・ 諮問／答申
- ・ 必須意見聴取
- ・ 意見具申（建議）

「協働の要」の役割

- （区民等と市との協働の要）
 - ・ 区民等の主体的な参加
 - ・ 多様な意見の調整、取りまとめ
 - ・ 区役所との連携
 - （地域振興活動のコーディネート）
 - ・ 行政と区民等が協働で実施する、コミュニティ育成や地域イベントなどのコーディネート
- 住民に基盤を置く機関として、関係者の意見調整を行うもの
- 協働活動を調整し、実施に向けて取りまとめを行うもの

「地域代表」の役割

- ・ 自治協での議論を団体へ持ち帰り、活動へ活かす。
- ・ 市から各種事務事業の報告等を受け、地域へ周知する。

「実施主体」の役割

- ・ 自治協提案事業の企画、実施等に主体的に取り組む。
- ・ 広報紙の発行

5

自治協のあり方検討と見直し

■ 区自治協議会のあり方検討委員会（平成29年度）

【今後の方向性】

これまで以上に、組織のあり方を区の実情に合ったものにする

- ・ より区の実情に応じた運営を図れるよう、条例等を改正
- ・ 各区自治協議会において、制度改正を踏まえた見直し等を実施

区の実情に応じた特徴的な取組みが活発化

6

これからの発表

「審議会」の役割

南区自治協議会
小田 様

「協働の要」の役割

西区自治協議会
加野 様

実施主体の役割

北区自治協議会
松田 様

地域団体との 連携

秋葉区自治協議会
小林 様

7

おわりに

8

北区自治協議会の取り組み

会長 松田正實





平成28年10月11日
 「福島潟のラムサール条約登録に向けた取り組み推進への要請書」を
 篠田市長に提出。

【北区自治協議会委員研修】 平成29年11月9日(木)
佐潟⇒佐潟水鳥・湿地センター



佐潟(さかた) 平成8年3月ラムサール条約湿地として登録
面積:約44ha 水面標高:4.8m 所在地:西区赤塚



上下二つの潟から成る美しい佐潟を眺めながら、佐潟水鳥・湿地センター職員から説明を受ける



環境政策課職員よりラムサール条約登録の条件やメリット等について説明を受ける

自然文化部会について

文化・スポーツ、環境などの分野を所管

【平成29年度】

○北区の潟の魅力発信事業

福島潟のラムサール条約登録に向けて、区民の理解を深め、水辺環境の保全と活用を図るため、大熊孝新潟大学名誉教授を講師として、自治会長向けの講演会を開催しました。

また約20年更新されていなかった、水の駅「ビュー福島潟」の展示をリニューアルするとともに、区内の様々な水辺を紹介する「北区の水辺マップ」を発行し、区内外に北区の水辺の魅力を発信しました。



自治会長向け講演会

日時：平成29年11月30日（木）

会場：北区文化会館

参加者：78人（自治会長）

講師：大熊孝 新潟大学名誉教授

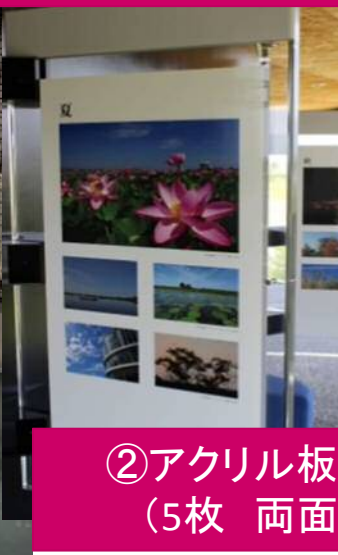
演題：越後平野の変遷とからうじて
残された潟

～ラムサール条約都市・
新潟に向けて～

20年ぶりに水の駅「ビュー福島潟」の展示を見直し、次の4つを実施



①オオヒシクイのはく製
（冬季期間限定）



②アクリル板
（5枚 両面）



③景色解説表示（5カ所）



④福島潟等の紹介映像
（2作品）



「北区の水辺マップ」を7年ぶりにリニューアル
水辺への分かりやすい地図と解説、潟の上空から
撮った写真を入れた「北区の水辺マップNEW」は、
北区役所・北出張所や
水の駅「ビュー福島潟」等で配布



北区の水辺マップ NEW!

① 太夫島
わき水から出る砂丘。現在工場の敷地内に入ることになっています。

② 新サンペとサンペ
5000年以上前からつくられた砂丘河は、霞ヶ浜地域から加藤まで約あり。その砂丘河と砂丘の間にある稲藪帯をサンペ (山並) と、間に深い方は新サンペと呼ばれ、わき水を利用した稲作が行われてきました。

③ 新井川
かつて新井川の土管で流れていた水質の悪化にともなって山内川と合流し、水質が戻りました。今は、新井川分水よりポンプでくみ上げる新井川用水の川となっています。

④ 新井川
昔は、新井川と新井川をむすび流れて流れる川で、洪水時には福島県から日本海へ排水できた一帯の川でもありました。新井川より水位が高いため、排水設備で水をくみ上げて海へ流し、水位を調整しています。

⑤ 福島潟
(原野に咲くベニバナあり)
国の天然記念物オアシスの地をめぐり、水生植物オアシスの北側の自然環境もあり、多くの動植物が生息しています。

⑥ 新井川
阿賀野川から流れ、新井川川に合流します。水質の悪化は、身が行き来してました。

⑦ 内沼
昔は福島潟の一部でしたが、1816年の島地干拓により、福島潟が5分縮まりました。

⑧ 福島潟
下流の市街地や農地を洪水から守り、福島潟の水を日本海に流すため2003年につくられました。

⑨ 新井川
かつて新井川の土管で流れていた水質の悪化にともなって山内川と合流し、水質が戻りました。今は、新井川分水よりポンプでくみ上げる新井川用水の川となっています。

⑩ 新井川
昔は、新井川と新井川をむすび流れて流れる川で、洪水時には福島県から日本海へ排水できた一帯の川でもありました。新井川より水位が高いため、排水設備で水をくみ上げて海へ流し、水位を調整しています。



○福島潟の魅力発信事業

豊かな自然環境の活用と健康増進につながる方策を考えるため、部会の研修として、改修工事が進む福島潟や、新潟医療福祉大学構内外を見学しました。

また、河童の目線から、自然の豊かさに気づいてもらおうと、福島潟に棲む河童が主人公のファンタジー『河童のユウタの冒険』（斎藤惇夫著）に着目し、挿絵作家が描いた「ユウタの棲家」の絵を大きく引き伸ばしたタペストリーを制作・展示しました。原画も展示できるようにし、水の駅「ビュー福島潟」の展示をさらに充実させました。併せて、ラムサール条約やその理念についての理解を深めるための啓発パネルやパンフレットを作成し、展示、配布しました。

継続的に、より広く福島潟の魅力を発信していくことが今後の課題です。



『河童のユウタの冒険』上・下巻
斎藤 惇夫／作 金井田 英津子／画 福音館書店



11月25日(日)
シンポジウム「河童のユウタの冒険」と福島潟

5月25日(金)新潟地域振興局職員から
福島潟の治水工事について説明を受ける



「ユウタの棲家」タペストリーの展示



新潟市がめざす自然環境との共生

市の鳥「ハクチョウ」・北區の鳥「オオヒシクイ」との共生
新潟市は白鳥繁殖地をもち、10周年を迎えた2014年に実施した市民投票の結果を受けて、市の鳥「ハクチョウ」と北區の鳥「オオヒシクイ」を制定しました。ハクチョウやオオヒシクイが生息するために保護されている田んぼの面積が広く、ラムサール条約の登録地にもなっています。ハクチョウ（ハクチョウ）やオオヒシクイの繁殖地を日本一の新潟市として、自然環境を守っていくことが大切です。

里地のネットワーク形成
ハクチョウは、ラムサール条約湿地の生態や種、里地や田んぼの生態系や環境に依存し、里地の田んぼをえさ場として利用するなど、それぞれの里地を歩きながら繁殖や子育てを繰り返しています。新潟、福島県や鳥獣保護官が連携し、里地間で4つのラムサール条約湿地を有することになれば、「ラムサール条約」を達成し、新潟市を自然環境の宝庫とすることをめざします。

「いがた命のつながり」が未来を創る
新潟市では、生き物多様性を保全するための計画として2012年3月に「いがた命のつながり」プラン（新潟市生物多様性戦略計画）を策定しました。下の図は、計画の策定時に掲げた「つながり」を軸に、新潟市の将来像を創るためのものです。ハクチョウをはじめ、さまざまな生き物と人々が共生し、豊かな自然環境の中で自然の恵みを受けながら人が生活しています。

この計画はラムサール条約の理念とも合致します。
将来世代の持続可能な社会を創るためには、新潟らしい文化や能力を世界に誇って発信することが大切です。これからは里地と人々が共生しているよう、里地の魅力を最大限に引き出し、活用していくことが大切です。

〒950-3383 新潟市北區新 3197 番地
TEL:025-367-1195 FAX:025-364-6712
環境モデル都市
環境省認定

～ラムサール条約湿地～
登録をめざす「福島潟」

北區版

ラムサール条約とは
正式名称「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」といい、1971年にイランのラムサールで国際会議が行われ、締結されました。日本は1980年に条約に加入し、現在98ヶ所が登録されています。また、新潟市では1998年3月に登録されています。
ラムサール条約は、湿地の保全とワイズユース（賢明な利用）をすすめるための条約です。
湿地は、昔から私たちの身近な場所でありました。しかし、開発が進むにつれて湿地は減少してしまいました。世界中で湿地は、世界の重要な湿地を守るとして、湿地の自然を壊さぬようにしながら、人々の利用できるようにすることを目的として条約が結ばれました。現在98、170の国が加入し、2841ヶ所の湿地が登録されています。
注：2018年2月現在

ワイズユースとは
湿地には、水や食料の供給、洪水の緩和やレクリエーションの場を提供など、人々にさまざまな恵みをもたらす機能があります。この恵みを最大限に活用しながら人と上手に利用すること、ワイズユース（賢明な利用）といえます。新潟市には、このように恵みがたくさんあり、地産地消としても活用されています。

ラムサール条約やその理念を深めるため、パネルやパンフレットを作成

審議機関としての自治協の本質的なあり方



南区自治協議会 会長 小田 信雄

部会の現状と課題

部会を市民等と区の協働の要として機能させる必要あり



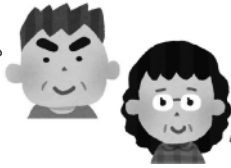
本来の部会の役割を果たせていない



自治協議会提案事業の企画・提案・実施の負担が大きい

委員からの意見

議論するテーマと報告だけで済む事項をきちっと分けるべきである。



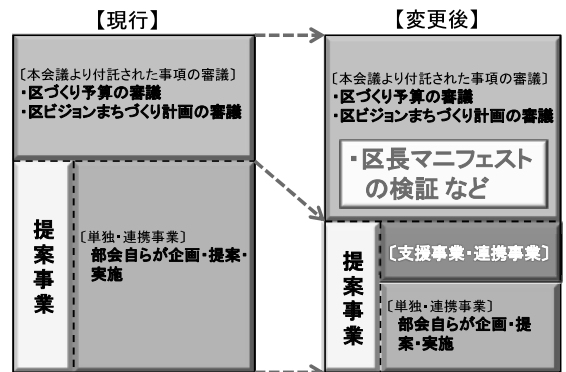
区長マニフェストなど、区政運営に係る事項を議論して区政に反映すべきである。

部会の役割検討特別部会

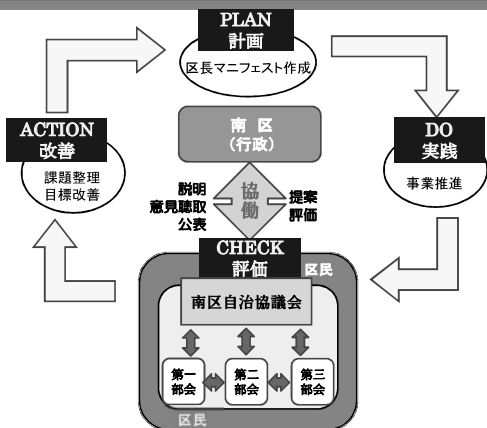
- ・部会のあり方
- ・自治協提案事業の実施方法



南区自治協議会部会の役割(イメージ図)



区長マニフェスト PDCAサイクルイメージ



区長マニフェストの検証結果の報告



委員の皆様から頂戴したご意見は

- 速やかに取り組む事項
- 中長期的に検討する事項
- 予算要求を伴う事項
- に分類し
- 効果・効率的な事業実施、次年度予算編成の参考とします



渡辺南区長

区長・副区長と議題等の打ち合わせ

区長・副区長と
自治協 会長・副会長で
毎月 事前打ち合わせ

・本会議の議題について
・区の課題の共有など

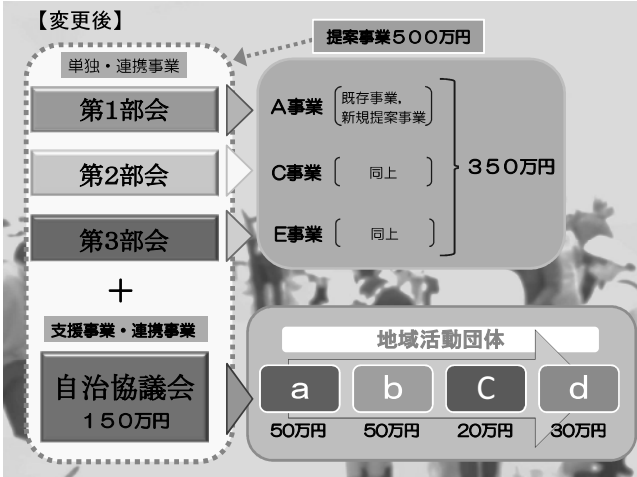


区自治協議会提案事業の変更

【現状】

第1部会 公共交通、防犯・防災ほか	・A事業 ・B事業	} 500万円
第2部会 健康・医療、福祉・教育ほか	・C事業 ・D事業	
第3部会 産業、観光、文化・スポーツほか	・E事業 ・F事業	

【変更後】



どうすれば広がる？ 降雪時の支え合いの取り組みの輪

西区自治協議会のとりくみ

西区自治協議会 第2部会
加野 麻理子

きっかけ

平成30年の大雪

→特に西区では普段経験しない雪の量。

狭い道・坂道などが多く除雪車などが入らない。

○区役所だけでなく自治会長や民生委員に高齢者等から

「助けてほしい」と除雪相談が多くあった。

取り組みをしている人や団体に負担が集中

○歩道やゴミステーションなど公共の部分



大雪を受けて

自治協 会議前の雑談「大変だったね」「ウチはこんなだったよ」「もっとうだったらいのにな」

2018年6月

第1部会(防犯、防災、自然環境、住環境等所管)と第2部会(保健福祉、文化、教育等所管)

合同で除雪についての意見交換

- ・区役所での除雪体制について
- ・大雪時の助け合い活動

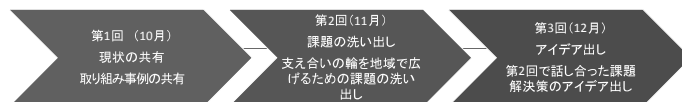
- ・大雪時、皆が大変な思いをした
- ・(次の雪に備えて)なんとかしたい

気持ちや
課題の
共有

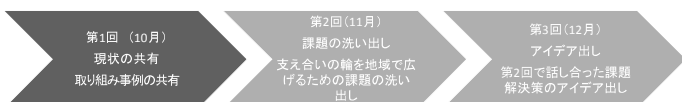
もっと全体的に話ができるといいね

➡ 本会での検討へ

実際の検討方法



- ・自治協本会の場で3か月にわたり全3回実施
- ・検討のテーマは「降雪時の支え合いの輪を地域で広げるために」
- ・区役所が・・・ではなく、
住民・地域団体・自治協として何ができるかを検討した。



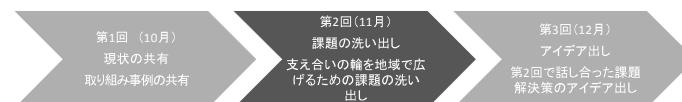
第1回(10月) 現状の共有

○新中浜町内会「おたすけ隊」の事例紹介

自治会の有償ボランティアで除雪等にに取り組む事例の紹介

○自治協委員から地域の取り組み事例や状況等の報告

自分の地域ではどんな状況だったかや地域での対応、助け合いの様子、工夫などを意見交換



第2回(11月) 課題の洗い出し(グループワーク)

地域別に4つのグループに分かれ、現状や課題、こうしたら良いのではというアイデアを話し合い

出された意見(主なもの)

- ・マンパワー不足
- ・ご近所づきあいが少なくなっている
- ・地域での支え合いの大切さを伝えていくことが必要
- ・子どもたちや若者にも参画してもらいたい



第1回（10月）
現状の共有
取り組み事例の共有

第2回（11月）
課題の洗い出し
支え合いの輪を地域で広
げるための課題の洗い
出し

第3回（12月）
アイデア出し
第2回で話し合った課題
解決策のアイデア出し

・第3回（12月）アイデア出し（グループワーク）

第2回で話し合った課題、「地域での助け合い（共助）の大切さをどのように広め、次世代へどのように伝えるか」

出された意見（主なもの）

- ・支え合いの大切さを伝えるために
→標語募集、自治会等の集まりの場で話し合い、広報誌の活用…
- ・地域のコミュニケーションづくりのために
→休日に一斉雪かき日、班ごとの茶話会…
- ・若者に協力してもらうために
→学校の体育の授業で雪かき、学校単位で支援隊をつくる



実施してよかったこと

○部会を越えた議論

- ・グループワークが良かった。
- ・少人数で話し合いをすることで、一人一人の意見を出し合い検討できた。

○多様な人材の宝庫

- ・自治協委員は様々な地域、様々な団体から集まってきている。
- ・また所属する部会によっても視点が異なる。
- ・こうした多様性から様々な意見、面白いアイデアが出された。

○議論の内容を区民に発信

- ・検討の様子を、自治協の広報紙や区だよりで周知。
- ・多くの人が降雪時の助け合いについて考える周知活動につながった。

今後について

- まだ「検討」した段階。本当に大切なのは自治協としてこれからどんな取り組みができるか。
- 自治協という多様な人の集まりから面白いアイデアが出された。
これから、それぞれが持っている強みやつながりを発揮して取り組みを実施、展開していければ。
- 雪＝毎年降るものではない ものに対し、どう備えていくか。
降雪時に支え合える地域は、普段の助け合いや災害時にも支え合える地域

↓
課題解決のアイデア実現に向けて話し合いを行います。

秋葉区自治協議会の取り組み

第1部会 部会長
小林 俊介

新潟市 秋葉区自治協議会
区民 民主動サポート宣言

秋葉区自治協議会は
このまちに暮らす区民が
主体的に「まちづくり」に関わり
行動する「区民主動」を
会力で
サポートすることを宣言します。

2018年4月25日



秋葉区自治協議会の部会は4つ



- ・第1部会 (まちづくり)
- ・第2部会 (福祉・交通)
- ・第3部会 (教育・文化)
- ・広報部会 (自治協のPR)



第1部会 提案事業

「きらめく秋葉区」に向けた
あなたの提案をお待ちしています

課題解決
きらめきサポートプロジェクト
KIRAMEKI SUPPORT PROJECT supports your problem

平成28年度 スタート

第1部会 課題解決 きらめきサポートプロジェクト



第1部会 課題解決 きらめきサポートプロジェクト



	応募数	採択数
平成28年度	4	4
平成29年度	12	4
平成30年度	11	6



菩提寺山フェスティバル



秋葉里山ガイドの会
& こどもくらしJAM



- 2団体のコラボレーション
- 「里山ビクターセンター」
来場者数 **1,026人**

過去
最多数

にいつ夏まつりを体感しよう



新津第一中学校 地域教育コーディネーター



- 体験会・見学会の開催
＜協力＞
- 三之町町内会・新津松坂協会
新津松坂流しへの参加
- 課題の再認識

「新津の魅力かるた」で 脳トレ&ふるさと教育



新津第一小学校 地域教育コーディネーター



- かるた交流会の開催
＜協力＞
- 商店街・自治会/町内会・老人クラブ
- かるたレンタル仕組み整備・PR
- 介護施設、子ども食堂、他地区...

在郷町小須戸「町屋ギャラリー薩摩屋を 拠点とした地域活性化イベント」



小須戸コミュニティ協議会



- 商店街とのコラボレーション
- 「町屋ギャラリー薩摩屋」来場者数
(1~3月)
H29年度 903人 → H30年度 1,345人

「鉄道の街」のさらなる活性化をはかる事業



鉄道OBを中心とする会



- 平均80歳！鉄道OBの追憶の記録
- 記憶の映像化、YouTube配信
新津鉄道資料館HP「鉄道座談会記録集」

秋葉山分岐点案内図設置



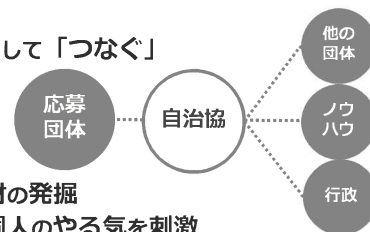
新津中央コミュニティ協議会



- 現地調査、デザイン
- 分岐点案内図 8基
矢印標識 6基

第1部会 課題解決 きらめきサポートプロジェクト

- 「協働の要」として「つなぐ」



- 地域課題と人財の発掘
- 既存の団体、個人のやる気を刺激
- 双方に「気づき」が生まれる
- 幅広くPRできる
- 自治協議会のPRにも
- 事業の継続性
- 部会横断

課題解決

「きらめく秋葉区」に向けた
あなたの提案をお待ちしています

きらめきサポートプロジェクト
KIRAMEKI SUPPORT PROJECT supports your problem

開催します！

平成28年度スタート

説明会
7月3日(水) 午後7時～
新津地域交流センター

【応募】
30～50万円
採択数3件
(予定)

